

# 謙遜するから自己評価が高い。 結果、周りから笑われている。

日本人は謙遜を美德としている。「私はまだまだ...」「私はバカで...」と建前を言う。それを聞かされたほうは、『うんうん、アイツは良く自覚している』と納得する。なので議論には発展しない。何しろ、聞いたほうは相手が謙遜したとは思わず、きちんと自覚できていると思ってしまうのだから。結果、謙遜したほうは、知見の低さを自覚できない。議論に発展しないだけあって、間違いを指摘してくれる相手に巡り会うことがないからだ。

似たもの同士は集いやすく、お互いを肯定し合うのも要因。ましてや、建前とは裏腹に自己評価だけは高いから、間違いを自覚できるはずがない。

自分を顧みず、バカの一つ覚えで「政治が悪い」「行政が悪い」に帰結する人が多い。『政治家を動かさない自分が悪い、周りの人を動かさない自分の弱さが原因だ』という発想は微塵もないようだ。しかもズルいことに、多数派を味方につけて一部の少数派を攻撃するのが一番安泰だという打算も入っている。人口比からすると政治家・行政官は少数派にあたる。なので、政治家と行政だけを悪者にし『官は悪、民は被害者』という世論は捨てがたいのだろう。

賢くなりたいなら、●自分が一生かかっても出来ないことを一日で実現できてしまう人がいることを、一日も早く知ること。●情報弱者は知見弱者でもあることを自覚すること。

●脳ある人を探し出し、相手の話を良く聞き、価値観と行動を徹底的にマネること。

自分の程度を知りたいなら、私見を文書化して世間へ発表すること。そうすると反論や賛同意見が届く。それによって自分はまだまだだと自覚できる。賛同意見を安易に喜んでいいけない。なぜなら、書き手と同レベルの人が賛同しているだけかも知れないからだ。

自分だけで考えている分には、どれほど熟考しようとも、自分の頭だけを最大限に使い、その中で最高の考えをまとめているに過ぎない。だから、自分は優秀だと思い込みやすくなる。残念ながら、大半の人が自分は優秀だと思い込んでいるのだ。優秀な人が大半ならば、これだけ動物虐待が蔓延るはずがないし、社会問題が解決しないはずがない。解決しないのは優秀な人が少ない証。結果を見れば原因が解るではないか！

謙遜はするが実は自己評価の高い無策の連中が、教えられる立場にあるのに教える立場だと思いい込んだままだ。これで日本が良くなるはずがない。

アニマルポリス  
〒960-8066 福島市矢剣町11-3  
星野節子 024-563-7650 (tel fax)